



昨年はコロナ禍で中止となった北海道国際協力フェスタでしたが、今年は12月4日、5日とオンラインで開催されました。今年のテーマは「世界をあきらめない。～学ぶべ！しゃべるべ！つなげるべ！～」。展示の代わりにウェブサイトによる活動紹介、セミナーやワークショップのライブ配信、そして、オンラインストアなど、工夫を凝らしたフェスタとなりました。セカンドハンド北海道はウェブサイト上で動画と本部のHP紹介を行いました。

 写真は2019年の販売の様子です。
次回は対面での開催ができるといいですね！



日本チャリティーショップ・ネットワーク主催の「チャリティーショップ白書を読む会」にオンラインで出席しました。チャリティーショップの運営者が抱える悩みや必要とされている支援について情報共有をし、様々な切り口から改善策を模索しました。経験豊富なチャリティーショップの関係者や大学教授も出席しており、たくさんの知恵やアドバイスを頂きました。社会におけるチャリティーショップの役割や必要性を再認識する貴重な機会となりました。

〔日本チャリティーショップ・ネットワーク:Japan Charity Shop Network 略称JCSN〕
全国のチャリティーショップ運営団体が集まり、国内でのさらなる定着を目指したネットワーク団体。



9月～11月までの3ヶ月間にご寄付をくださった方々です。
【順不同・敬称略】

青野千恵子、伊賀憲子、大廣智佳子、大山治彦、岡田正昭、岡本洋功、小川睦子、奥谷照榮、柏原裕美、片山績、加藤昭彦、亀山誠子、川崎多恵子、木村明仁子、久保歯科クリニック、吳妙專、塙田直子、清水博子、下地初子、白川ふみ、末澤一誠、住友林業株式会社四国支店、高島清磨、高橋利治、瀧澤 宏直、田中正利、田村美津子、俵恵美、塙田泰代、徳芳郎、友近規、長尾美和子、沼田章、のぞみ総合法律事務所、野村妙、林陽一、林田物流株式会社、舟越一隆、堀口公明、真嶋佐栄子、升崎里美、松家春美、松尾加代子、松原志乃、松本崇臣、三木佳子、美濃吉広、宮本明宜、山内郁子、横川みどり、横田千春、吉本房子、若杉淳子

本部・高松店

〒760-0055 高松市觀光通1-1-18

TEL: 087-861-9928

営業時間: 月～金 10時～16時

定休日: 土曜、日曜、祝日



片原町店

〒760-0040 高松市片原町9-1

TEL: 087-822-3552

営業時間: 月～金 10時～18時

土・日・祝日 10時～17時

松縄店

〒760-0079 高松市松縄町37-5

TEL: 080-4999-0494

営業時間: 平日11時～19時 土日11時～18時

定休日: 木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています

公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市觀光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/sh/>

SECOND HAND

あなたの手を、世界の誰かに。

Sambot

セカンドハンド通信

2022 January

Vol.

107

これまでに、年に2回のカンボジア観察渡航で里親の方々からお預かりしたお手紙を持参し、支援先の子どもたちに手渡していました。しかし、コロナ禍で現地への渡航ができず、2020年2月以降は届けることができませんでした。そこで、今回は里親の皆様からのお手紙をメールで現地連携団体へ送り、現地のスタッフから子どもたちに届けてもらいました。クリスマスカードやニューイヤーカードなど、色とりどりのお手紙が集まりました。



Contents

女性の自立支援

新型コロナウイルス感染症緊急支援

Network

お知らせ

Special Thanks



ラチャナ・ハンディクラフト バッタンバン州



コロナ前の工房の様子



私たちが暮らすバッタンバン州は、普段は観光客が多く訪れる街です。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、外国人だけでなくカンボジア人旅行者の姿も見かけなくなってしまいました。誰にとっても困難な状況とは思いますが、このような時にラチャナ製品を購入し、ご支援して下さりありがとうございます。皆様のご支援が工房で働く女性たちの生活環境の改善に繋がります。高品質な商品をお届けできるよう頑張ります。最後に皆様のコロナ禍での健康と安全をお祈り申し上げます。



ラチャナ・ハンディクラフト
代表シバナさん



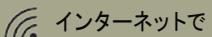
フェアトレード商品のご購入や、委託販売を通して、工房で働く女性たちの生活を支えることができます。

＜ご購入方法＞



セカンドハンドの全店舗や各委託販売先で商品をご購入いただくことができます。

委託販売先：オリーブ（三豊市）
和カフェぐう（直島町）



BASE でネットショップを開設しています。下記の URL もしくは QR コードからご検索ください♪

<https://2ndhand.theshop.jp/>

＜委託販売先＆受注契約先募集＞

委託契約を通じて商品を販売して頂ける場合は、セカンドハンド事務局までお問い合わせ下さい。高松保育園では、制服をラチャナ・ハンディクラフトへ発注して下さっています。例えば、社内でお使いの布製品をラチャナ製品に代えて頂くことでご支援頂くこともできます。まずはお気軽にご相談ください。



委託販売先：和カフェぐう



セカンドハンドが支援を行うラチャナ・ハンディクラフト・バッタンバンでは、この 2 年間で注文が 8 割ほど減少し、働く女性たちの収入も激減しています。女性たちは、育てた野菜を販売したり、建設現場や飲食店等での仕事を掛け持ちしたりしながら、どうにか食いつないでいる状況です。セカンドハンドでは、さらに商品の発注数を増やし女性たちの生活支援を行っていきます。



新型コロナウイルス感染症 緊急支援

KKEV プノンペン市 センソック地域

セカンドハンドの現地連携団体である KKEV では、10 月から現在までの間に、施設内のスタッフや子どもたち 20 人のコロナ感染が確認されました。現在は全員が快復し、新たな感染者は出ていないようですが、日々感染対策を続けています。この感染対策にかかる、マスク、石鹼、アルコール消毒液などを購入するための費用として、セカンドハンドでは 3 月末までに約 20 万円の支援を行います。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。



隔離施設へ移動



施設消毒の様子

カンボジア国内の新型コロナウイルス感染者数が落ち着きを見せ始めた昨年9月以降、教育青年スポーツ省は、中学3年生と高校3年生の登校再開を公式発表し、他の学年もオンラインと並行しながら週2日の登校を再開していました。この1月からは、全学年の全日登校が再開。ようやく新学期がスタートしました。

香川県子どもの未来応援ネットワーク（県社会福祉協議会）



新型コロナウイルス緊急支援としていただいた寄付金のうち 20 万円を、香川県社会福祉協議会を通じて申込みのあった子ども食堂等、8 団体に 2 万 5 千円ずつ寄付しました。それぞれの団体で食材の購入に充てられました。

【子ども食堂運営者の声】

子ども達は「おいしい！おかわり！」と喜んでいました。新型コロナウイルスの影響で楽しく食事がなかなかできない中、楽しそうな子ども達の笑顔にうれしかったです。

支援先（順不同）

すまいる・はうす、みんなの料理教室
木蓮、どきどき食堂つ☆ご、えびすハッピー子ども食堂応援団、一般社団法人もも、小豆島子ども・若者支援機構、アール・ツウふれあい食堂、認定 NPO 法人さぬきっずコムシアター